『梟と番様』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『梟と番様』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『梟と番様』を読んだことのある10代～50代の男女36名
調査期間	2025年9月12日～2025年9月13日 2025年10月18日 2025年11月14日 2025年12月30日 2026年1月18日 2026年2月21日 2026年3月22日 2026年4月19日 2026年6月23日 2026年8月14日 2026年9月1日 2026年10月14日 2026年10月27日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hukuroutotugaisama/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：『梟と番様』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

10代男性	1人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	7人

30代女性	2人
40代男性	5人
40代女性	3人
50代男性	18人
50代女性	0人

Q2:『梟と番様』の感想を教えて下さい。

『梟と番様』1話	この作品のヒロインユフィリアの境遇がちょっと切ないですね。婚約者エリオスには雑に扱われ妹アリスにはたくさんの迷惑をかけられとちょっとかわいそうな境遇なところが逆に応援したい気持ちを高めてくれています。そんなユフィリアがある梟と出会ったのことで物語が動き始める流れがとても面白いですね。この先どのような展開になるのかと気になること間違いなしです。
『梟と番様』1話	病弱でワガママな妹ばかりを優先する家族と浮気性の婚約者を持つドアマットヒロインという定番の設定ですが、そこに獣人や番という要素が加わっていることで、より面白くなりそうなストーリーだと感じました。最後に出てきた梟は表情も動きもとても豊かで可愛らしく、もしこの梟がゼイングロウの獣人だとしたら、人間バージョンの姿はどんな感じなのかな？と期待が高まりました。
『梟と番様』1話	ユフィリアの不幸さには驚かされました。序盤のエリオスの様子からもそれはうかがえましたが、私の予想をはるかに超えていました。ユフィリアへの仕打ちはあまりにもひどすぎます。いくらなんでもアリスが酷すぎるでしょう。作品の世界観的に一人暮らしするのは難しそうですけど、一刻も早く独り立ちして欲しいですね。気掛かりなのは王宮からの連絡です。ブライスはゼイングロウの番探しではないかと考えていましたが、これがユフィリアにとっての転機になるかもしれません。婚約者がいる立場とはいえ、国交問題に発展すればエリオスとの婚約破棄も十分にあり得ます。もしゼイングロウに嫁ぐことになれば、実家からも抜け出せるので、今後の展開に注目したいと思います。
『梟と番様』2話	1話での梟の不思議な動きは求愛ダンスではないかと考えていたので、彼がユフィリアの番であることは予想通りでしたが、番と出会えたことで浮かれまくっていたり、ユフィリアに対する家族の仕打ちを察してとても怒っていたりと、意外と子供っぽい感じがする素直なキャラクターでかわいいなと思いました。穏やかで優しい性格のユフィリアとは相性ピッタリな気がするので、ヨルハの想いが通じてはやく2人が結ばれたら良いなと思いました。
『梟と番様』2話	登場してくる人物が様々に増えてきた状況だったので、これからその増えてきた登場人物がどうヒロインに絡んでくるのか、ワクワクしながら読めました。また、そんなヒロインも家族と綺麗に縁が切れたような展開ではありましたが、本当にこのまますんなりと決別できるとはあまり思わないので、今後どうなってしまうのか尚更気になっています。
『梟と番様』2話	ヨルハの熱愛っぷりが非常に気持ち良かったです。ユフィリアしか眼中にないという感じも素敵ですが、番とする為の行動もテキパキとしていて爽快でした。ただ、心配になる要素もあります。ユフィリアは家族どころか侍女達からも酷い扱いを受けていました。大好きな女性がそんな仕打ちを受けていると知れば、なんとかしたくなるもの。それに獣人にとって番の敵は最も憎むべき対象のようですし、やり過ぎてしまうのではと不安に感じました。
『梟と番様』3話	ユフィリアが冒頭から父親に叱責されてしまう場面が興味深いです。その原因はほとんどが妹のアリスなのに、なぜか皺寄せがユフィリアにくる感じが本当に可哀想ですね。でもユフィリア本人は「こんなこと日常茶飯事」とばかりに達観した感じで父親に接していて、すごく格好良く見えました。ユフィリアの目が座っていて何を考えているのかわからない感じがとても素敵です。
『梟と番様』3話	もっとバーバラ王妃と早く出会えていたら良かったのにと痛感しました。家族はおろか婚約者のエリオスですら、ユフィリアに杜撰な扱いをしてきました。もしバーバラ王妃のようにユフィリアの真価を見抜ける人が傍にいたなら、このような扱いは受けなかったはず。もっと早く出会えていたな

	ら、実家での地位が上がったでしょうし、エリオスのような男を婚約者に充てがわれなかったのになあと悲しくなりました。気になったのはヨルハからのプロポーズです。初対面の男性からプロポーズされても、ユフィリアは受けようがありません。そんな当たり前がわからないほどヨルハは動揺していますし、断られたことでどのような行動に出るのか心配になりました。
『梟と番様』4話	獣人と違って番がわからないユフィリアにヨルハの気持ちが伝わっていないのがとてももどかしいと感じました。また、王様と王妃様がきちんとユフィリアの置かれている辛い境遇をしっかり把握してくれていることに、驚かされつつも安心しました。しかも王家が全面的に2人の婚約を後押ししてくれそうなので、これでアリスに妨害される心配はなくなったかなとホッとしました。
『梟と番様』4話	だんだんとシンデレラストーリー感が強くなっており、最初がかなり嫌な展開が続いていた分、読んでいるこちらまで幸せを実感した気持ちになりました。また、溺愛っぷりもリアリティはあまりないものの、それでも幸せになってもらいたいといった思い一新だったので清々しい気分になれましたし、ヒロインの感情も戻りつつあり、更に目が離せなくなりました。
『梟と番様』4話	バーバラ王妃の慌てぶりが楽しめました。ヨルハがいきなりプロポーズするなんて想定外だったのでしょう。この辺りはヨルハが暴走したのもありますが、文化の違いもありそうに思います。ヨルハは人間ではなく獣人なのですから。ヨルハに計算外の行動をとられ、血相を変えて止めに入るバーバラ王妃の姿が面白かったです。結果的にユフィリアにとっては良い話だなって思いました。現時点だとユフィリアはヨルハがどういう人なのかわかりませんし、不安に感じる気持ちもわかります。でもエリオスと結婚するよりは、マシになることは間違いないでしょう。最初は戸惑っていたユフィリアもその事についてはすぐ気づいていましたし、思い残すことなく嫁いでくれればいいなって思いました。
『梟と番様』5話	とにかくユフィリアの用心深さがとても興味深いですね。ゼイングロウの皇帝が自分に一目惚れしたと聞き、不安に思う姿がとても面白く映ります。皇帝様と全く繋がりがなさすぎて色んな資料を元にゼイングロウに関してのことを調べまくる姿がとにかく可愛いですね。ユフィリアの性格が見事に反映されている姿にとても好感が湧きました。
『梟と番様』5話	贈り物からヨルハの熱愛っぷりが伝わってきました。高級な物を沢山贈るというだけでなく、ユフィリアに喜んでもらえるものを贈ろうとしているところからも、愛情の深さが伺えます。例えば錬金術に関する書籍。普通は女性にプレゼントするものではありません。ユフィリアの好みを調べて選んだわけで、ユフィリアを思いやる気持ちを感じられてとても良かったです。気掛かりなのは実家です。流石にハルモニア伯爵ともなれば、ユフィリアの婚約者となった人物がゼイングロウの王であることぐらいは理解しているでしょう。にもかかわらず、まだアリスの我儘を優先しています。自分達の立ち位置を全く理解していないようですし、今後何かやらかしそうだと不安に感じました。
『梟と番様』6話	アリスの勘違いぶりがとてもおかしくて笑ってしまいました。本来なら気づきそうなものですが、これは父親と兄が情報を操作したからでしょうね。ユフィリアが幸せな結婚生活を送っていることを知ったら、アリスがそれを台無しにしようとすると思います。そうなると多額の結納金も無駄になり、ハルモニア家としても困ってしまいますから。それがアリスを暴走させることになったのですが、エリオスがどうしようもない男だとも気づかずにアタックする姿には笑えました。
『梟と番様』6話	アリスをいつまで誤魔化せるかです。侯爵令嬢のマリーですら、ユフィリアの婚約者はゼイングロウの皇帝だと知っていました。そう考えると、アリスの耳に真実が入るのも時間の問題でしょう。真実を知った時、アリスがどのような暴走を見せてくれるのか楽しみです。
『梟と番様』7話	見事なプレゼントに驚きました。マリーという情報提供者がいたとはいえ、よくぞここまで揃えられたものです。ユフィリアに喜んでもらおうという気持ちがひしひしと伝わってきました。気がかりなのはヨルハがどのように動くかです。マリーによって、これまでユフィリアがどのような扱いを受けてきたか知ってしまいました。目つきが気に入らないという理由だけで、護衛を解雇するよう言い出したヨルハです。何もしないとは考えられません。どのような対応をするのか注目したいです。
『梟と番様』7話	ヨルハがどのように動くかですね。マリーによって、これまでユフィリアがどのような扱いを受けてきたか知ってしまいました。目つきが気に入らないという理由だけで、護衛を解雇するよう言い出したヨルハです。何もしないとは考えられません。どのような対応をするのか注目したいです。

『梟と番様』8話	マリーの手際の良さに関心しました。ユフィリアが虐げられてきたことを知れば、ヨルハが暴走する可能性があることも理解していたのでしょう。たった一言でヨルハを落ちつかせてしまう話術は見事でした。
『梟と番様』8話	ヨルハがハルモニア家にどのように対応するのか気になります。マリーからユフィリアに対するひどい扱いを聞いていたとはいえ、見送りに誰も来ないとは思っていなかったでしょう。結婚が終わって落ち着いたとき、どのような仕掛けをするのか注目したいです。
『梟と番様』9話	ヨルハの愛が深すぎました。その愛が強すぎて、ヨルハの愛情表現が若干過剰な気がしないでもありません。しかし、これまで不幸が続いてきたユフィリアにとっては、これくらいの愛情がちょうど良いのかもしれません。普通に接しても、ユフィリアは遠慮してしまうでしょうから。ただ、眠ったまま入国してしまったことに不安を感じます。おそらく、ゼイングロウの有力者たちが出迎えてくれていたはず。夕方に行われる歓迎の宴で何かトラブルが起こりそうな予感がしてなりません。
『梟と番様』10話	ユフィが歓迎されている理由がわかってスッキリしました。これには違和感を覚えていたんですよね。ヨルハとユフィは種族が違うというだけではありません。ゼイングロウの人たちからすると、ユフィはどこの誰かもわからない女性です。何故ここまで歓迎されるのかと疑問に感じていたのですが、納得出来ました。
『梟と番様』10話	エリオスの今後が気になりました。色々やらかしてきたエリオスですが、今回のトラブルは決定的でしょう。どのような処罰を下されるのか注目したいです。
『梟と番様』11話	アリスの考え方に寒気を覚えました。そもそも寮での生活を余儀なくされたのは、すべてアリス自身の行いによるものです。それにもかかわらず、その点をまったく理解していない様子が見受けられます。それどころか、原因をすべて姉であるユフィのせいにしている点には驚かされました。ここまで他責思考が強くなると、さすがに恐ろしさを感じてしまいます。
『梟と番様』11話	今後アリスがどのような行動を起こすのか気になりました。ここまでユフィへの恨みを募らせている以上、何かしら問題を起こすことは間違いないでしょうから。
『梟と番様』12話	亀の甲より年の功という言葉がぴったりの場面でした。シンラはユフィの悩みを見抜くだけでなく、どうすれば負担を軽くできるかという具体的な道筋まで示しました。ただ励ますのではなく、役割を与えることで自然と自己肯定感を取り戻させる。その手腕は見事というほかありません。ヨルハやコクランが気づけなかった部分にまで踏み込んでいる点も含めて、経験の差が際立っていました。
『梟と番様』12話	気になるのはエリオスです。ここまで来ると、父親のアクセル公爵が可哀そうとまで感じました。エリオスの暴走を未然に防げるのかどうか、注目したいです。
『梟と番様』13話	新たな敵の予感を感じさせる展開でした。メーダイル帝国は獣人を蔑んでいる国です。ゼイングロウと共存できるはずありません。いわば一触即発のような状況の中、ヨルハはリス妖精たちを解放しました。これってメーダイル帝国の立場から見れば、自国の財産とも言える存在を奪われた形になります。バレれば外交問題へと発展しかねず、今後の波乱を予感させる展開でした。
『梟と番様』13話	気になるのはエリオスの動向です。他国へ嫁いだユフィが、未だに自分のいう事を聞くとなぜ思っているのでしょうか。エリオスがユフィを利用しようとした時、ヨルハがどのような形で立ちはだかるのか注目したいです。
『梟と番様』14話	ユフィってゼイングロウと相性が本当に良いですね。シンラの口ぶりからすると、ゼインアロエの花が咲くのは相当レアなはず。にも拘らず、ユフィが必要としている時に、その稀少な花が咲いているのですから。シンラはユフィのことを、持っている方かもしれんと感じていましたけど、その通りだと思います。
『梟と番様』14話	側近たるコクランの息子ですら、ユフィに手を出そうとしたらこのザマなんです。もしもゼイングロウで、以前のようにエリオスがユフィに馴れ馴れしい態度を取ったとしたら、どうなってしまうのでしょうか。想像すらしたくないですね。
『梟と番様』15話	まだ現実を認められないアリスが怖すぎます。マリーがせっかく現実を教えてくれたというのに、まだ認めようとはしません。それどころか、全部ユフィのせいだと思っているんですから、もはや救

	いようがないですね。
『梟と番様』15話	タイミングが悪いように感じました。ユフィは試験を受けるためにミストルティン国へ行こうと考えています。となれば、アリスが何か仕掛けてくるかもしれません。今のアリスなら後先考えずに行動を起こしそうなだけに、強い不安を覚えました。
『梟と番様』16話	ヨルハの愛は本物だなって感じました。ユフィを手元から離したくはないだろうに、よく認めたものだと思います。好きな人の望むようにさせてあげる。これって簡単なようでいて相当難しいことなだけに、ヨルハはユフィを心から愛しているんだなと伝わってきました。
『梟と番様』16話	ユフィのミストルティン行きに不安を感じます。エリオスはもう何もできないと思いますけど、まだマリーが残っていますから。あれだけユフィのことを憎んでいたのですから、何かしてくることは間違いないでしょう。マリーがどんな手を使ってくるのか注目したいです。
『梟と番様』17話	ユフィがここまでヨルハを信頼していることに驚きました。この場所がゼイングロウなら、まだわからないでもありません。しかしここはミストルティン国です。普通なら、ヨルハが助けに来てくれるとは思わないでしょう。それにもかかわらずユフィは一人で向かうことに決めたのですから、本当にヨルハを信頼しているんだなと感じました。
『梟と番様』17話	ヨルハがアリスたちにどのような対応をするのか気になります。ユフィを危険な目に遭わせたアリスたちを、ヨルハが許すはずありません。アリスたちにどのように処分を下すのかハラハラします。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス